

埼玉県保健医療計画に基づく病床整備計画報告書

1 整備計画概要

医療機関名	さくら記念病院
所在地	富士見市水谷東 1-28-1
整備（増床）病床数	32床（第6次13床 合計45床の増床）
（医療機能別内訳）	地域包括ケア病床 32床（6次と合わせ45床）

2 開設年月：令和2年5月

3 病床整備による地域医療課題への対応目標

- 新たに整備した地域包括ケア病床については、他の急性期医療機関からのポストアキュート患者の受入れ割合を40%程度とすることを目標としており、9月時点では、31%となっている。
- また、在宅医療や介護施設からのサブアキュートや医療必要度の高いレスパイト入院の受入れを40%程度とすることを目標としており、9月時点では、35%となっている。

4 他医療機関・施設等との連携・協議状況

年月	相手方	連携・協議内容
令和2年7月 ～ 令和2年9月	病院	具体的な受入可能な患者について地域連携室の実務者での協議 埼玉医科大学総合医療センター、イムス富士見総合病院、イムス三芳総合病院、TMG あさか医療センター等 30件
令和2年7月 ～ 令和2年9月	介護施設 (老健・特養・ 有料老人ホーム等)	入院している施設患者情報提供、及び退院時の施設への再入所について協議 さくらの里、こぶしの里、富士見の里、羽沢の里、鶴瀬台の里、はるな苑、志木瑞穂の森等 14件
令和2年7月 ～ 令和2年9月	診療所	具体的受入可能な患者について診療所スタッフと協議。 川越南腎クリニック、草野整形外科、所沢腎クリニック、たにあい内科医院、富士見クリニック、清瀬博濟堂クリニック、高松医院、等 44件
随時	ケアマネ	退院カンファにはケアマネージャーに参加いただいております。在宅・施設入所への密な連携に努めています。

5 その他（地域での医療連携での取組、新型コロナウイルス感染症の影響など）

- 10月7日、東入間医師会での病院と介護施設などケアマネを介した連携の会議へ（入退院支援の運営会議）参加
- 新型コロナの影響で病院の稼働があまり活発で無い状況下での増床であるが、9月には稼働率も81%程度まで回復。（増床前は稼働は98%程度）
- 10月より連携室人員1名増員、常勤全5名で地域での医療連携に取り組んでいる。
- 地域包括ケア病棟入院料1を算定。
（サブアキュート15%以上、自宅等からの緊急患者の受入は3ヶ月で6人以上の基準はクリアしている）